

ゆいきらら「西友枝棚田とうろう祭」と「京築めぐり秋」

9月24日(土)、西友枝体験交流センター「ゆいきらら」において「西友枝棚田とうろう祭」が開催され、新米をはじめとした地元産品や特製の「しし鍋」、つきたてのお餅などの秋の味覚を求めて多くの来場者でにぎわいました。ステージでは上毛龍神太鼓、こうげ音楽倶楽部の演奏や友枝子供神楽が出演し、大いに盛り上がりました。夕方からは竹灯籠や松明が秋の里山を彩る中、唐原神楽の躍動感ある舞いに皆さん酔いしていました。

また11月3日(木)に「絶品芋餅づくり体験」を行い、県内各地から19名が参加しました。上毛町産のさつまいもと小麦粉で芋餅を作った後は、「たまたばこランチ」を楽しんでもらいました。新米むかご飯やにぐいなど旬の食材を使っており、参加者からは、「里山の恵みを味わうランチがおいしかった」「上毛町の素晴らしさを満喫できました」という声をいただき、大好評でした。

京築めぐりは、京築地域の魅力を多くの人に知ってもらおうと、県と京築7市町で企画しています。今回は、春に苔玉づくり体験を行う予定です。ぜひご参加ください。



●問い合わせ先
西友枝体験交流センターゆいきらら TEL 72-3939



Do-re-mi-fa Chorus Group

During a calligraphy lesson a few months ago, my teacher mentioned that she was singing an English song in her chorus group. I was astonished to hear that the group was practicing a four hundred year old renaissance madrigal by John Dowland.

Excited by the idea that here in Koge people were exploring British music I offered to help explain the meaning of the song and the pronunciation of its lyrics. Although I love playing music I have no confidence in my singing ability, so when I first went to a group practice at the Tōbaru community centre, I really thought I would only be teaching English. However when the group's dynamic and incredibly talented teacher, Mr Kumagae, kindly invited me to join the group of course I accepted.

Over the next few weeks we practiced Dowland's "Come Again", "Nada-Soso" and "Anpanman March". Soon enough it was time for the performance at Kōge's cultural festival. I was really impressed by how quickly everyone managed to master the English lyrics. I think everyone did a fantastic job. Even though I was quite scared to sing to begin with, I have to say it was a really fun experience. I really want to thank everyone in the group for welcoming me and being so kind.

Thomas

ドレミファコール

数か月前の習字教室で、習字の先生がコーラスグループで英語の歌を歌っていると言いました。そのグループは400年前のイギリスのルネサンス時代のジョン・ダウランドという作曲家のマドリガールを練習すると聞いてとても驚きました。

上毛町でイギリスの音楽に興味を持つ人がいることに興奮して、歌の意味や歌詞の発音を説明したいとお手伝いを申し出ました。音楽は好きなのに、歌唱力に全く自信がないので、初めて練習に参加するために唐原コミュニティセンターへ行ったときは、英語を教えるだけと思っていました。しかし、才能があるグループの活動的な先生である熊谷さんが、コーラスに入るように誘ってくれたので、よるこんで入りました。

それからの数週間はダウランドの「Come Again」と「涙そうそう」と「アンパンマンマーチ」を練習しました。まもなく上毛町文化祭での演奏の日が来ました。皆さんが短い時間で英語の歌詞を上手に覚えられたことに感動しました。私は最初は歌を歌うことが少し怖かったのに、最後にはとても楽しい体験になりました。コーラスの皆さんにとっても優しく歓迎していただいて、本当に感謝申し上げます。

トーマス

入賞おめでとうございます

上毛町文化協会加盟団体「あかつき川柳会」・「こうげ俳句会」会員ならびに町中央公民館主催の「はじめての俳句づくり教室」受講者が、次のとおり大会において入賞されました。

応募総数が4800句だった「横光利一俳句大会」をはじめ、数多くの応募作品の中から厳選された秀作です。おめでとうございます。
※氏名の前に◎がついている方は、「はじめての俳句づくり教室」受講者です。

* 第17回横光利一俳句大会(宇佐市)

《中学生以下の部》
秀作 太陽より早く朝顔おきている ◎高橋 桜子(西吉富小6年)

《一般の部》
特選 爽かや日増しに高き壇の音 荒巻 勝郎(西友枝)
佳作 洞門の粗き鑿跡夏つばめ 吉本 友一(西友枝)
鎌研いで心地良き日や秋の水 白木すなえ(西友枝)
死ぬときは薄きがよるし夏蒲団 藤本 正吾(西友枝)
花吹雪浴びて子供に戻りけり 木下テル子(西友枝)
幟立つ耶馬の山城春田打つ 尾形 忍(西友枝)
深々と村の眠りや天の川 大石 敏子(西友枝)
五月雨や煤けて光る自在鉤 岩花 太美(西友枝)
紫陽花や裏木戸くぐる蛇目傘 大木本法通(原 井)
水番のうずくまりある草の闇 熊谷 文子(垂 水)

* 第9回耶馬溪短文学大会(中津市)

《俳句・児童生徒の部》
優秀賞 ベランダに大き長いす大花火 ◎小野 勝輝(西吉富小2年)

《俳句・一般の部》
大会賞 燭の灯のゆらぐ羅漢や秋しくれ 飯田 哲雄(土佐井)
最優秀賞 立春や子の声太き糸電話 ◎小野 澄子(大ノ瀬)

* 第17回 全国万葉短文学誌上大会(中津市)

《川柳の部》
大会賞 発表会ママが目立って娘が霞み 奥 昭仁(西友枝)

第25回上毛囲碁大会の成績

10月23日(日)、げんきの杜で第25回上毛囲碁大会が行われ、34名が参加し、盛大に行われました。結果は右記のとおりです。



Aパート(六段~二段) Bパート(三段~初段)

1位 高畑 廣視(五段) 1位 出水 義弘(二段)
2位 末吉 利明(六段) 2位 奥 昭仁(初段)
3位 尾北 徳雄(五段) 3位 佐藤 盛義(三段)

Cパート(1級~6級) Dパート(6級~22級)

1位 城元 和視(1級) 1位 高野 賢一(8級)
2位 小畑 道春(4級) 2位 大下 文弘(6級)
3位 信安 一郎(1級) 3位 矢頭 正之(17級)

北朝鮮人権侵害問題啓発週間 12月10日~16日

拉致問題をはじめとする北朝鮮当局による人権侵害問題は、我が国の喫緊の国民的課題です。

被害者の方々の早期帰国や問題の解決のため、私たち一人ひとりが関心を持ち、認識を深めましょう。

●問い合わせ先
福岡県保護・援護課 TEL 092-643-3301

少林寺流錬心館 第29回北部九州空手道選手権大会で上位入賞

10月1日(土)大分県立総合体育館で少林寺流錬心館第29回北部九州空手道選手権大会が開催され、参加選手300名による熱戦が繰り広げられました。

錬心館新吉富支部から型試合中学生の部に出場した堤涼介選手が準優勝し、組手試合一般女子の部に出場した進友佳里選手が3位に入賞しました。



▲前列左から2番目 堤 涼介 選手
前列一番右 進 友佳里 選手